

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○		○				○	○		○		○		○

## 企業の概要

企業・団体名	ビズクルー株式会社	本社所在地	千葉県
業種	サービス業(他に分類されないもの)	総従業員数	5名
事業概要	デザイン制作、デザイン定額サービスの運営		

## テレワーク実施概要

雇用上の規定	テレワーク運用ルール
テレワーク担当部署	本社
テレワーク対象者	デザイナー
実施者数	5名
平均実施日数	月12回以上16回未満程度(概ね週3~4回)

## テレワークの導入・拡大の経緯

- 昨年の新型コロナウイルスの感染拡大と、100%元通りの世の中には戻らないとの考えから、昨秋にリリースした新しいサービスはテレワークで勤務することができる前提で仕組みを構築した。
- そのシステムが社内でしっかり機能することを確認し、2021年1月より全社(5名+役員1名ですが)でテレワークを導入している。
- 感染が収まるまでの予定だったが、テレワーク・デイズ2021への参加を最終テストとして、新入社員の研修などを除き今後の完全テレワーク移行を決定した。

## テレワークの概要・特徴

- 原則は自宅での勤務。
- 勤怠管理はアプリを導入、社内やお客様とのやり取りは基本的にチャットツールで行っている。
- ほか、ストレージやCRMなども外部サービスを導入し自社で構築して活用している。

## テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- 社内での気軽なコミュニケーション機会は大きく減ったものの、以前よりも会社と個々のタスク管理をしっかりやるようになったことで生産性が落ちるといったマイナスは生じていない。安価で効率的な外部サービスを導入することで、むしろ生産性は上がっているともいえる。また、10月7日の千葉北西部を震源地とする地震においての帰宅困難者のニュースを受け、従業員より「災害のことを考えると、テレワーク勤務でよかった」との声が届いた。
- 従業員の帰宅困難回避はもちろんのこと、テレワークを推進する企業が増えることで災害時の混乱度合いを少しでも下げることにつながれば、それも社会的効果のひとつになるのではと感じている。